

多文化共生のまちづくり

外国人と日本人

「多文化共生」とは、異なる文化を持つ人がともに尊重し合い、自分らしくいきいきと生活することを言います。
 今回は、外国人と日本人との多文化共生について考えてみたいと思います。

のうち3つを紹介します。

① 避難所看板の外国語表記

市内に26箇所ある災害時の避難所を案内する看板の文字を日本語とともに外国語で表記しています。



② 暮らしの便利帳

生活に役立つ情報提供として、外国人のための「暮らしの便利帳」を配布しています。(4月からは新しい便利帳を配布する予定です)

③ 外国人のための日本語教室

毎週火曜日(19時〜20時30分)、市役所北別館2階で開催しています。

3期(4〜7月、9〜12月、1〜3月)あり、受講料(資料代)は、1期あたり千円です。



多文化共生で笑顔のあるまちづくりを進めていきましょう。

多文化共生を実現するためにできること
 ・まずはあいさつから！気軽に声をかけてみましょう
 ・お互いの文化や生活習慣を理解しましょう

小郡市には、人口約5万9千人のうち、20か国226人の外国人が住んでいます。(平成24年6月末現在)
 異なる文化や言語を持った私たちが安心・安全に生活するためには、災害時の安全な避難方法など日常生活に必要な情報を得たり、お互いにコミュニケーションを取ることが重要です。
 ことで、多文化共生のための市の取組

暮らしの便利帳は、外国語(英語、韓国語、中国語)と日本語の対訳になっていますので、「多文化共生」のための便利帳として、日本人が外国人に説明する時にも利用できます。

● 問合せ先 企画課男女共同参画推進係

☎72・2111 内線2222